

① 研究課題名：

頭頸部悪性腫瘍に対するテクスチャ解析の有用性の検討

② 研究の目的：

画像診断学は非常に発展していますが、医師が検査画像を眼で見て判断するという主観的な診断法が大半であり、その診断能は必ずしも一定ではありません。近年、コンピュータを用いた膨大な画像データ解析が以前よりも可能になり、疾患の鑑別や予後推定に関連する画像データを数値化し、コンピュータ解析することで、客観的に診断を行う新たな診断法が注目されています。

本研究の目的は、既に手術や生検により頭頸部悪性腫瘍（嗅神経芽細胞腫、扁平上皮癌、悪性リンパ腫、中咽頭癌）と確定診断されている方の、治療前に撮像された頸部造影CTの画像データを用いてテクスチャ解析*を行うことにより、頭頸部悪性腫瘍の鑑別や予後推定に関連する特徴を発見し、客観的な診断法を確立することです。

*：画像の質感（光沢、ざらつき、周期性等）を数値化して測定し、その測定値から画像分類する方法。

③ 研究期間：西暦 2019年 11月 ～ 2021年 3月 31日まで

④ 研究代表者及び研究実施施設一覧

研究代表者：名古屋市立大学大学院医学研究科 放射線科 小川 正樹

研究実施施設：名古屋市立大学病院、名古屋市立西部医療センター

⑤ 研究の対象：

手術や生検により頭頸部悪性腫瘍（嗅神経芽細胞腫、扁平上皮癌、悪性リンパ腫、中咽頭癌）と確定され、2011年5月1日から2019年7月31日までに頭頸部悪性腫瘍の初回治療前に評価目的で頸部造影CTを受けられた方

⑥ 調査項目：

a) 診療情報

- ・ 基本情報：頸部造影CTが撮像された時の年齢、性別
- ・ 病理結果に関する情報：手術や生検により最終診断の根拠となる病理組織が得られた日付と診断名
- ・ 画像データに関する情報：頸部造影CTが撮像された日

b) 画像データ

- ・ 初回治療前に撮像された頸部造影CT画像

⑦ 研究の方法：

研究担当医師が、対象となる方の診療録より「⑥調査項目 a)」の情報を調査し、「症例調査票」に記入します。症例調査票及びCT画像（「⑥調査項目 b)」）は、名古屋市立大学大学院医学研究科 放射線科（研究代表者：小川正樹）へ提供され、集計・解析されます。

⑧ 研究成果の公開

英文医学雑誌、国際放射線学会で公表することを予定しています。

⑨ 個人情報の保護

情報及び画像は、個人を特定する情報（あなたのお名前、ID、住所等）を削除し、名古屋市立大学へ提供されます。このため、個人情報が外部に漏れることはありません。

この研究に参加されたくない（あなたのデータを使ってほしくない）場合は、医療者にその旨をお伝えください。この研究に用いるデータからあなたの情報を削除いたします。削除のお申し出を

された場合であっても、あなたが不利益を受けることはありません。

⑩ 利益相反

本研究による資金提供はありません。本研究に関わる研究者は「厚生労働科学研究における利益相反（Conflict of Interest：COI）の管理に関する指針」を遵守します。

⑪ 問い合わせ先

研究事務局	診療科	研究責任者
名古屋市立西部医療センター 住所：〒462-8508 愛知県名古屋市北区平手町1-1-1	放射線診断科	白木 法雄 TEL：052-991-8121（代表）